

体温記録表

氏名

男・女

年令

才

ヵ月

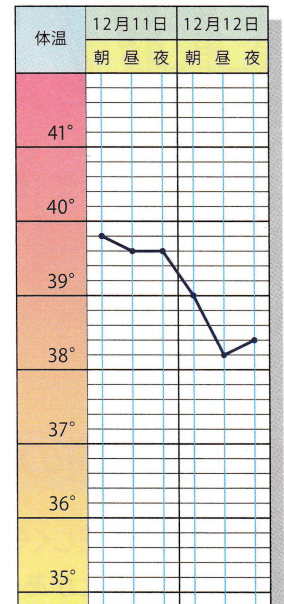
体温は病気の状態をあらわす大切な目安です。

- きょうから朝、昼、夜、1日3回欠かさず体温を測定し、例のように記入して下さい。
- 次回来院時には必ず持参して下さい。



(例)

体温	月 日			月 日			月 日			月 日			月 日		
	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜
41°															
40°															
39°															
38°															
37°															
36°															
35°															



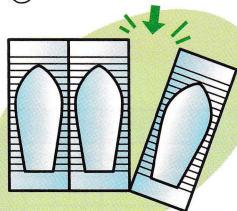
アンヒバ® 坐剤小児用を使用されている方へ

アンヒバ® 坐剤小児用50mg,100mg,200mgの 使い方

- この薬は肛門内に挿入して使用する坐剤です。
- この薬は直腸内の体温で溶け吸収され、効果をあらわします。
- 飲み込ませたり、口の中に入れたりしないで下さい。

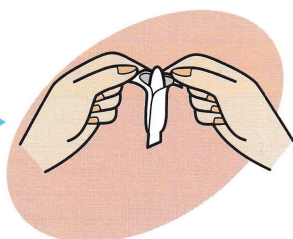
1 坐剤の取り出し方

①



ミシン目にそって1個
分を切り離して下さい。

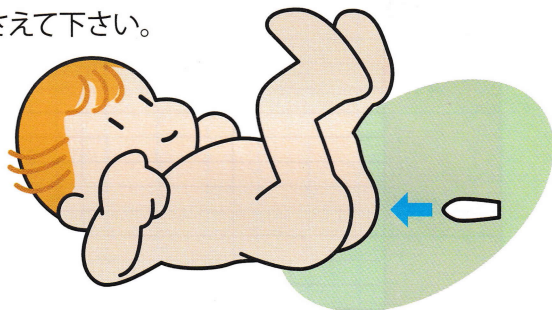
②



プラスチックケースの上
部の開き口を左右に引
っ張り、坐剤を取り出し
て下さい。

3 坐剤の入れ方

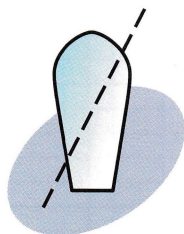
お子様を図のように、あお向けに寝かせ両
足を持ち上げ、坐剤の太い方から肛門内に
深く入れた後、4～5秒間紙などで肛門を押
さえて下さい。



坐剤の先を水などでぬらすと入れやすく
なります。

2 使用前の注意

- ①医師の指示を正しく守って挿入して下さい。
- ②わからないことがあったら、医師、薬剤師に
お問い合せ下さい。
- ③1／2量を使用する時に
は図のように斜めに切っ
てご使用下さい。
- ④できるだけ排便後に挿入
して下さい。



4 その他の注意

- ①**直射日光をさけ、涼しい所に保管して下さい。**
- ②小児の手の届かないところに保管して下さい。
- ③挿入後しばらくしてから肛門付近に油状のぬ
れが出る場合がありますが心配ありません。
- ④この薬とジアゼパム坐剤を一緒に使う場合
は、ジアゼパム坐剤投与後少なくとも30分
以上間隔をあけて下さい。両坐剤を同時に
使用した場合、ジアゼパムの初期の吸収が
阻害される可能性があります。